

事業所名

キャリアデザイン東札幌事業所

支援プログラム

作成日

令和 7年

3月

1日

法人（事業所）理念		障がいをお持ちのお子様自立へ向けた第一歩を踏み出せるよう、わからないことやできないことをパソコンを活用して自ら調べ、学ぶ力を育むことを目的としています。将来の就労や進学において、パソコンを活用しながら「自立する」「できる」力を身につけることを目標としています。					
支援方針		一人ひとりの興味や関心を尊重し、パソコンカリキュラムは基本的に「好きなことから始める」方針を取っています。自ら学ぶ楽しさを実感し、主体的に取り組む力を育むことを重視しています。パソコンを通じて課題に取り組み、試行錯誤しながら解決する経験を積むことで自己解決能力や論理的思考力を養います。このような環境の中で、将来の自立に向けた力を身につけられるよう支援していきます。					
営業時間		10 時	0 分から	19 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	身だしなみを整えることや、基本的な挨拶や手洗いなどの生活習慣を身につけることで、社会生活に適応する力を育てます。さらに、自分で使用したパソコンの清掃や片付けを習慣化することで整理整頓の意識を高め、責任を持って物を管理する力を養います。不登校状態にある児童には、落ち着いた環境（別クラス）の中で支援を行い、基本的な生活習慣の確立と安定した生活リズムを作るための取り組みを行います。					
	運動・感覚	タイピング練習を通じて指先の運動機能を向上させ、適切な姿勢を維持することで長時間の作業にも対応できる体づくりを目指します。また、パソコンを活用した手と目の協調運動を行い、視覚情報を素早く処理しながら手を動かす力を強化します。さらに、手芸などの創作活動を取り入れることで、細かい動作の調整力や創造力を養います。身体を適切にコントロールする力を身につけることで、より快適に学習や作業に取り組めるよう支援します。					
	認知・行動	視覚優位の特性を活かした支援を取り入れ、視覚的な情報を整理しながら理解を深める力を養います。また、自己選択する力を育むため、複数の選択肢の中から自分に合ったものを選び、決定する経験を積む機会を提供します。さらに、集中力を高める取り組みとして一定時間作業に取り組む練習や計画を立てながら物事を進める訓練を行います。試行錯誤しながら課題を解決する経験を重ねることで、計画的に物事を進める力を培うとともに、成功体験を通じて達成感を得られるよう支援します。					
	言語 コミュニケーション	カードゲームやボードゲームを活用した小集団活動を通じて、ルールを守ることや相手の意見を聞く力を育てます。さらに、相手に対して適切に質問ができるようになることや、自ら発言する力を伸ばすことも重視します。また、パソコンを活用した情報検索の力を養い、自分が必要とする情報を適切に取得できるよう支援します。言葉の理解や表現力を高めることで、自己発信の力を伸ばし、社会生活におけるコミュニケーションスキルの向上を図ります。					
	人間関係 社会性	ソーシャルスキルトレーニング（SST）を通じて、対人関係の基本的なルールや相手に配慮した言動を学びます。また、将来の就労を見据え、ワープロ検定の資格取得を目指した練習を行い、職業スキルの向上を図ります。さらに、面接練習を通じて自己紹介や質問への適切な応答、印象の良い受け答えの仕方を学び、就労や進学に向けた実践的なスキルを身につけます。社会に必要なスキルを段階的に身につけることで、自信を持って将来に向かえるようサポートします。					
家族支援		情報共有を行うとともに面談の機会を設け、必要に応じた助言やアドバイスを提供します。また、ご家族が支援中の様子を気軽に見学できるよう積極的に声掛けを行い、安心して関わっていただける環境を整えます。			移行支援		必要に応じ関係機関への訪問や連携を行い、支援に必要な情報の共有に努めています。高校生には就労支援事業所への見学なども行います。
地域支援・地域連携		地域の福祉施設等と交流をして連携を図ります。また地域の中での外出レクも行います。			職員の質の向上		職員の専門性に繋がる研修を積極的に行います。また、働きやすい環境の整備を行います。
主な行事等		年間行事として、夏祭り、ハロウィン、クリスマス会、クッキングレク、スポーツ交流会、卒業お祝い会などを行います。					